放課後子ども教室の取組例 （人権・地域教育課地域教育係HPより）

９月 26 日（水曜日）、片桐小学校放課後子ども教室において、ボランティアの人たちに見てもらいながら、宿題をした後、竹細工の鉄砲を作る体験が行われました。

講師の方から「のこぎり」や「なた」を見せてもらうと、子どもたちは歓声をあげながらも、しっかり話を聞いていました。

子どもたちがけがをしないよう、ボランティアの人たちが手伝ってくれますが、子どもたちもできることは自分の力で行い、それぞれ自分の竹鉄砲を完成させました。その後、矢の先に野菜くずやストローなどを装着して、的に当てて遊びました。

講師グループの方は、「身近にあるものと道具と手を使って作ることは、今の子どもたちに最も必要な遊びだと思っている。内容を考えて小学校へもってくるのが楽しい。」と話してくれました。

12 月 19 日（水曜日）、五條市立牧野小学校のクラブ活動と、放課後子ども教室を取材しました。

４年生以上が参加するクラブ活動には、さまざまな専門知識をもったボランティアが多数指導に来ていました。例えば、「ICT（プログラミングを中心とした活動）」や「ホームメイド」などのクラブには、県内の大学から教授や学生が、「英語でスピーチ」クラブには外国にルーツをもつ英語ボランティアが、講師として子供たちに楽しく、わかりやすく教えてくれています。また、地域の囲碁・将棋クラブや卓球クラブ、ゲートボール協会などからも指導者やクラブのメンバーなどが、それぞれのクラブに参加している児童とともに楽しく活動していました。

低学年の児童向けには、放課後子ども教室が開かれ、地域の公民館スタッフやボランティア大学生と一緒に宿題や折り紙などを楽しそうにしていました。

地域コーディネーターは、地域の公民館の館長さん。学校の要望を聞くなかで公民館ができることも一緒に考え、学校と地域・社会の橋渡しをしておられる様子が印象的でした。放課後子ども教室に協力してくれるスタッフには、教員や保育士の資格をもった人を配置し、宿題を見るだけでなく、子供たちにとって楽しく実りある活動をすることを心掛けていると話してくださいました。

子供たちが地域とのつながりの中で成長していくために、校長先生と地域の大人たちが様々なアイデアを出し、それが小学校の明るく優しい雰囲気を作り出していると感じました。

6月7日（水）、川西町放課後子ども教室を取材しました。この教室は小学校に隣接する文化会館で行われ、川西小学校の2年生から6年生まで約60名が毎週１回参加します。

町教育委員会が主催するこの活動は、学童保育とも連携しています。子どもたちは、学年別に分かれて、元気に先生に挨拶をしてから学校の宿題に一生懸命取り組んでいます。学習支援員の方々が主に宿題を中心に一人一人のペースに合わせてじっくり見てくれます。川西町では学習支援員として大学生から退職した教員まで、15名の方が登録されており、それぞれの持ち味を生かした学習支援をしています。

子どもたちは、友達や大人の中で楽しく学習でき、毎回参加するのを楽しみにしているようです。

くれました。後輩にも声をかけてくれているようで、「今後も続いていってほしいです。」と話をしてくれました。